

# キャンドルサービス

夜の帳に浮かび上がるキャンドルの神秘的な炎を見つめながら、厳粛な儀式と友達との楽しい思い出を通して、親睦と帰属感を深め、素敵な一時にしてほしいです・・・

《 対象学年 》 …4年生以上

《 時間 》 …1時間～2時間

《 活動場所 》 …体育室

《 持ち物 》 …ろうそく、アルミホイル（受け皿用）懐中電灯、CD、演出用小道具類

※ガラスのトーチは130ほど貸し出すことができます。燭台も貸し出し可能です。

※ポータブルアンプは貸し出すことができます。音源のチェックをしてください。

《 展開例 》

時間	展開	留意点
第1部 15分	<p>○事前に用具の点検をして、会場を設営する。</p> <p>○体育室入口に集合してオリエンテーションをする。</p> <p>○迎火の儀式（第1部）</p> <p>①火の神（女神）、火の子の入場</p> <p>歌 『遠き山に日は落ちて』 など</p> <p>② 分火の儀式 炎に誓いを立てる。</p> <p>③ 点火 歌 『燃えろよ燃えろ』 など</p> <p>④ 火の神（女神）、火の子退場</p>	<p>□会場に入る前に、児童の気持ちを作っておくとよい。</p> <p>□火の神（女神）、火の子の待機場所や入場の仕方、分火の仕方は事前に練習しておくとうい。</p>
第2部 40分～ 65分	<p>○交歓の集い（第2部）</p> <p>○司会者（エールマスター）の進行で、参加者たちのレクやスタンツ、ダンスや歌など、親睦を深める活動を行う。</p> <p>○雰囲気ガラッと変えられるよう、司会者（エールマスター）や参加者への慈愛の雰囲気を持たせる。</p> <p>※フォークダンス、ゲーム、スタンツなど</p>	<p>□燭台に灯っている火を消して、燭台を端に移動させた方がよい。</p> <p>□全員が楽しむことができるような雰囲気づくりをする。</p>
第3部 10分	<p>○送り火の儀式（第3部）</p> <p>① 火の神（女神）の入場</p> <p>② 火の神（女神）から、今宵の話を聴く。</p> <p>③ 歌 『今日の日はさようなら』 など</p> <p>④ 火の神（女神）の退場</p> <p>⑤ 参加者退場</p>	<p>□厳粛な雰囲気に戻るまで、待つことも大事。</p> <p>□楽しかった1日を振り返るとともに、普段の自分を見つめなおす時間にしたい。</p> <p>※アレンジバージョン 『キャンドルロード』</p>

上記展開例は、あくまで例であり、実施する団体、学年等に応じてアレンジを加えてもよい。



## キャンドルロード

1列で心を落ち着かせて部屋にもどる

ように事前指導をお願いします。

準備するものはとくにありません。